

秋田大学総合環境理工学部

令和8年度

総合型選抜 |

学校推薦型選抜 |

(女子枠)

—案内—

総合型選抜Ⅰ（出願資格A） ※総合型選抜Ⅰ（出願資格B）との併願不可

出願資格

総合型選抜Ⅰ（出願資格A）に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者となります。
また、合格した場合、入学を確約することができる者となります。

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く)の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

選抜方法

小論文および面接を評価して選抜します。
小論文の過去問題については、秋田大学ホームページに掲載されています。

選抜期日

令和7年10月上旬を予定しています。

募集学科・ コースおよび 募集人数

学科	コース	募集人数
応用化学生物学科	生物学コース	13名 ※学科単位での募集です
	有機・高分子化学コース	
	応用化学コース	
環境数物科学科	数理学・地球環境学コース	4名
	機能デバイス物理コース	3名
社会システム工学科	モビリティコース	5名
	電気システムコース	2名
	社会基盤コース	3名

総合型選抜Ⅰ（出願資格B） ※総合型選抜Ⅰ（出願資格A）との併願不可

出願資格

総合型選抜Ⅰ（出願資格B）に出願することのできる者は、次のすべてに該当するものとします。
また、合格した場合、入学を確約することができる者となります。

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者
- 2 令和8年3月31日までに次の志望するコースの出願要件を満たす者

学科	コース	出願要件
応用化学生物学科	(3コース共通)	工業および農業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者[学科の指定なし]
環境数物科学科	機能デバイス物理コース	工業および情報に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者[学科の指定なし]
社会システム工学科	モビリティコース	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者[学科の指定なし]
	電気システムコース	工業および情報に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者[学科の指定なし]
	社会基盤コース	工業および農業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者[学科の指定なし]

※環境数物科学科 数理学・地球環境学コースの出願資格Bでの募集はありません。

選抜方法

小論文および面接を評価して選抜します。
小論文の過去問題については、秋田大学ホームページに掲載されています。

選抜期日

令和7年10月上旬を予定しています。

募集学科・ コースおよび 募集人数

学科	コース	募集人数
応用化学生物学科	生物学コース	4名 ※学科単位での募集です
	有機・高分子化学コース	
	応用化学コース	
環境数物科学科	機能デバイス物理コース	2名
社会システム工学科	モビリティコース	5名
	電気システムコース	3名
	社会基盤コース	3名

学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠） ※大学入学共通テストを課さない

出願資格

次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者。これに加え、戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とする。

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和8年3月修了見込みの者

(2) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者

(3) 調査書の学習成績概評がB段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）で、なおかつ、数学、理科および英語の学習成績の状況が3.5以上の者

(4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

選抜方法

面接を評価し選抜します。

選抜期日

令和7年11月下旬を予定しています。

募集学科・ コースおよび 募集人数

学科	コース	募集人数
応用化学生物学科	生物学コース	3名 ※学科単位の募集です
	有機・高分子化学コース	
	応用化学コース	
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	3名
	機能デバイス物理コース	3名
社会システム工学科	モビリティコース	2名
	電気システムコース	2名
	社会基盤コース	2名

総合環境理工学部 学科・コース一覧

○応用化学生物学科

応用化学生物学科では、化学と生物学の両方の知識と技術、それらを応用する能力を身に付ける教育を行います。さらに化学と生物学の専門性の重みの異なる3つのコースで学生の専門性の志向に応じた教育を行い、人の健康を支える製薬業や医療機器関連企業、および脱炭素社会に向けて変革する化学関連企業などで複合的な問題を解決できる人材を養成します。

【生物学コース】

生物学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度なバイオテクノロジーを修得するため、生化学、分子生物学、細胞生物学、生物化学工業などの生物学系専門分野を重点的に学び、人の健康や環境保全、バイオ生産における諸課題に挑戦する人材を養成します。

【有機・高分子化学コース】

化学と生物学の境界領域としての有機化学と高分子化学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度な有機合成技術を基盤とする応用力を修得するため、有機化学、高分子化学、有機材料科学などの専門分野を重点的に学び、医薬品や農薬および化学素材の製造や化学的検査・分析における諸課題を解決できる人材を養成します。

【応用化学コース】

化学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度な化学技術を修得するため、無機材料科学、電気化学、反応工学、エネルギー変換材料科学などの化学の専門分野を重点的に学び、クリーンエネルギーの創出、環境浄化、脱炭素化社会の実現における諸課題に取り組む人材を養成します。

○環境数物科学科

環境数物科学科では、モデリングやシミュレーションから観測・実験で得られたデータの分析などを通して、気候変動など地球で起こっている様々な異変を地学の知識を発展させて理解し、数学の知識を用いてモデル化する能力を備え、材料の特性や機能を物理学の知識を駆使して理解し、半導体・情報通信関連機器の環境負荷低減に取り組む能力を備え、理論から応用に至る幅広い知識と理論的な思考力を基盤として環境問題などの社会の諸課題の解決に挑戦する人材を養成します。

【数理科学・地球環境学コース】

数理科学と地球科学を柱として環境科学に学際的にアプローチする教育プログラムを構成します。数学の代表的な分野（代数学、幾何学、解析学、離散数学等）、理論物理学、地球科学の各分野において、基礎から発展的な内容まで教育し、各分野を専門とすると同時に共創の考え方を身に付けることで、地球の環境と持続可能社会の実現に貢献する人材を養成します。

【機能デバイス物理コース】

機能性の高い材料の新規開発からそれを用いた低環境負荷型の電子デバイスの設計および評価に関する教育研究を推進します。材料の機能や用途、デバイスの動作原理や特性、そして材料機能と電子デバイス特性の相関を学ぶとともに、数理科学・地球環境学コースとの分野融合で効率化を目指します。これらを通して、材料の機能性や物性を把握して電子デバイスを設計する能力、デバイスのシステムや仕様を把握しながら材料を開発する能力を身に付けて活躍する人材を養成します。

○社会システム工学科

社会システム工学科では、輸送機の電動化や社会インフラの整備など社会の持続的な発展を目指した教育研究を行い、持続可能な地球環境と社会システムの構築に貢献します。機械工学と材料科学・工学を基礎としたモビリティとその構成素材に関する専門性、電気電子工学を基礎とした脱炭素に寄与する電気システムに関する専門性、および人とまちを守る社会基盤に関する専門性を備えた、持続可能で豊かな未来社会を築く人材を養成します。

【モビリティコース】

地球環境と調和した先進モビリティ開発のための要素技術・システム技術を身に付ける課程として、機械工学の基礎を成す四力学（材料力学、熱力学、流体力学、機械力学）に加え、モビリティを構成する素材の材料科学・工学までを網羅した教育研究を行います。また、社会システム工学科の他2コースと連携して学際的融合を追求した教育研究を行うことで先進モビリティの設計・開発に貢献できる人材を養成します。

【電気システムコース】

輸送機の電動化、再生可能エネルギーの社会導入などを目指し、知的な電気機器や制御システムの設計・開発、電気エネルギーの発生・変換・貯蔵・利用、人間と環境の関わるエンジニアリングデザインに関する教育研究を行います。電気電子工学を中心とする電気システム分野の専門知識を活用して、持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材を養成します。

【社会基盤コース】

持続可能で強靱な地域社会を支える社会基盤の構築とその維持管理を目的として、環境負荷低減機能を重視した新たな地域社会基盤を創出する知識と技術を身に付けるための研究と教育を行います。(1)すべての人にとって快適な都市・地域社会の創造に関する知識と能力、(2)環境に適合した構造物の設計と施工に関する知識と能力、(3)水環境や地盤環境の保全と改善に関する知識と能力を素養として備えた人材を養成します。

※必ず、今後公表されるそれぞれの学生募集要項に基づき手続きを行ってください。

秋田大学 入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

入試の要項のページ
はこちらから

